

ミリング式レール削正車ROMILL

仙建工業株式会社 線路本部

導入済!

背景と目的

ミリング機構とグライディング機構を組合せてレール削正を行い、1パス施工で0.3mm～2.0mm削正する能力があることから、**間合いの短い区間でも効率的に施工が可能**である。また、両装置とも削正屑をほぼ吸引すること、及び**火花が出ない構造**となっていることから、**散水や地上作業員の配置は不要**である。

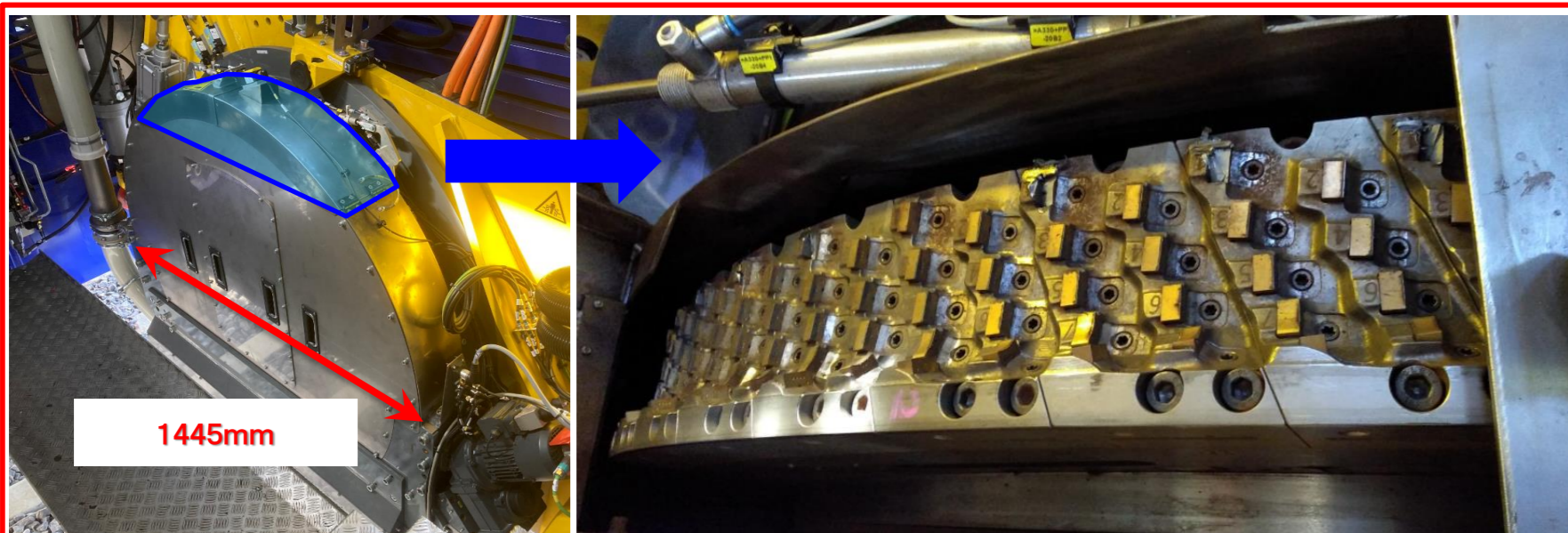
導入効果

「レール頭頂面疲労層削正」と「溶接部凹凸削正」を概ね0.1mm 5,000万トンの周期で削正することにより、「レール傷の発生を1/6に抑制」「ロングレール区間のレール寿命による交換を3割削減」となる効果がある。

ミリング式レール削正車ROMILL概要



ミリングユニット



グライディングユニット



検測装置

